

北総鉄道を 市民目線で考える

11/14 土 13:00~15:00

Part 2

印西市立中央駅前地域交流館「会議室1・2」

印西市中央南1-2 北総線「千葉ニュータウン中央」駅南口より徒歩3分



講師



江戸川大学
社会学部現代社会学科 准教授

大塚良治氏

報告



衆議院議員

みやかわ伸



印西市や白井市など千葉ニュータウン市民にとって、北総線は最も関心の高いテーマの一つです。

そこで、このたび江戸川大学准教授の大塚良治氏をお招きし、市民に愛される公共交通として北総鉄道はどうあるべきか、市民目線で議論します。

北総線の歴史やこれまでの経緯について、わかりやすくご講演いただきますので、お気軽にご参加ください。

会場定員：30名 ※要申込・先着順

参加費：無料

オンライン参加

Web会議ツール「Zoom」によるオンラインミーティングにぜひご参加ください。ご希望の方は下記宛てにお申し込みください。別途IDとパスワードをお知らせいたします。

参加申込書

お名前	
ご住所 TEL	〒 TEL
メール アドレス	
参加方法	<input type="checkbox"/> 会場 <input type="checkbox"/> オンライン (Zoom)

申込先

立憲民主党千葉県第13区総支部
〒273-0123
千葉県鎌ヶ谷市南初富6-1-7-3F

TEL: 047-497-8568

FAX: 047-413-0384

✉ oubo@smiyakawa.com

参加申込フォーム



新型コロナウイルス対策にご協力をお願いいたします。

- 検温を実施いたします。37.5℃以上の方のご入場はご遠慮ください。
- マスクの着用をお願いします。
- 入場の際はアルコール消毒をしてください。
- 密を避けるため、座席の間隔を空けてお座りください。

登壇者プロフィール



江戸川大学
社会学部現代社会学科 准教授

大塚良治氏

1974年生まれ。博士（経営学）。総合旅行業務取扱管理者試験、運行管理者試験（旅客）（貨物）、インバウンド実務主任者認定試験合格。広島国際大学講師等を経て現職。NPO法人四日市の交通と街づくりを考える会創設メンバーとして、近鉄（現・四日市あすなろう鉄道）内部・八王子線の存続案の策定と行政への意見書提出を経験し、現在は専務理事。著書に『「通勤ライナー」はなぜ乗客にも鉄道会社にも得なのか』。



衆議院議員

みやかわ伸

1970年生まれ。船橋市立習志野台中学校卒、県立千葉東高校卒、東京工業大学卒、同大学大学院博士課程修了（理学博士）。カリフォルニア大学サンディエゴ校、レンセラー工科大学で生命の起原やRNAの研究に従事。帰国後、東京大学医科学研究所でRNA新薬の研究に取り組み、バイオベンチャーを設立。2017年衆議院議員初当選（立憲民主党）。現在、経済産業委員会と原子力問題調査特別委員会に所属。

前回の様子（2019年3月10日）



2019年3月に開催した北総鉄道についての市民講演会では、大塚良治氏から、北総線の運賃引き下げに向けた提案や、行政、利用者、地域住民、鉄道事業者の協働が不可欠である旨のお話がありました。

みやかわ伸は、「市民、北総鉄道、自治体の三者が話し合う機会をつくり、各自が納得できる合意点を探ることで、Win-Winの解決方法を見出していく必要がある」と述べました。



後半のグループワークでは、参加者が8つのテーブルに分かれて、北総線の利用促進のために地域ができることや、利便性を向上させる具体策について意見やアイデアを出し合いました。